

## 「第12回キッズデザイン賞」で4点の受賞 賞の創設以来、12年連続で受賞達成

積水ハウス株式会社は、8月24日に発表されたキッズデザイン協議会（内閣府認証 NPO法人、本部：東京都港区）主催の「第12回キッズデザイン賞」において、「トモイエ 共働きファミリーが暮らす家」、「ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木」など、子どもたちを産み育てやすいデザイン部門で3点、子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門で1点のキッズデザイン賞<sup>\*1</sup>を受賞しました。当賞の創設以来、12年連続の受賞となります。受賞作品には「キッズデザインマーク」をつけることが認められ、その成果を広く社会に向け発信できます。受賞項目は、下記の通りです。

### <子どもたちを産み育てやすいデザイン部門>

- ① ライフスタイル提案「トモイエ 共働きファミリーが暮らす家」
- ② 街をつなぐ保育園「ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木」<sup>\*2</sup>  
（東京都江東区）
- ③ マルチエアコン小空間マルチカセット  
「ココタス（スマートパトロール運転プラス）」<sup>\*3</sup>



### <子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門>

- ④ 子どもでも開けやすい窓用引手「イーズ引手」<sup>\*4</sup>

【キッズデザインマーク】

なお、9月25日には、全受賞作品252点の中から、最優秀賞作品として「内閣総理大臣賞」1点の他、優秀賞作品として「経済産業大臣賞」4点、「少子化対策担当大臣賞」2点、「消費者担当大臣賞」1点、「男女共同参画担当大臣賞」1点、奨励賞、特別賞が発表される予定です。

## 各受賞内容について

### <子どもたちを産み育てやすいデザイン部門>

#### ① ライフスタイル提案「トモイエ 共働きファミリーが暮らす家」

「トモイエ」は、2009年の発売以来、仕事と家庭を両立しながら、さらに暮らしも充実させたい共働き家族の住宅ニーズに応えたライフスタイル提案として展開しています。共働き世帯が増加する中、住まいでの家事の効率化と楽しさに着目し、家族みんなで家事をする「みんな家事」をコンセプトにリニューアルしました。

新たな「トモイエ」では、三大家事である「洗濯」「料理」「掃除」と仕事モードと家モードの切り替えを上手にする「身支度」について、「みんな家事」を実現する「トモイエ」の4法則をつくり、家族みんなで楽しく効率的にきちんと家事をこなせる間取りや空間、収納、設備の開発を行いました。

この提案によって、現状、女性に偏る傾向のある育児・家事負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境を創出します。

「みんな家事」を実現する  
「トモイエ」の4法則のアイテム例



洗濯：洗濯専用室  
料理：セパレートキッチン  
掃除：お掃除ロボット  
身支度：チェンジングルーム

<sup>\*1</sup> キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・空間・サービス・活動・研究を対象とする顕彰制度です。（キッズデザイン賞 HP: <https://kidsdesignaward.jp/>）

<sup>\*2</sup> 株式会社ネス・コーポレーションとの共同応募

<sup>\*3</sup> ダイキン工業株式会社との共同応募

<sup>\*4</sup> 不二サッシ株式会社との共同応募

## ② 街をつなぐ保育園「ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木」(東京都江東区) (株式会社ネス・コーポレーションとの共同応募)

都市部には、多くの待機児童がいますが、保育園に適した敷地は限られています。江東区に開園した「ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木」は、高速道路の高架下の空間を有効活用し、建物配置や外構計画を工夫することで、地域全体で子どもの成長を見守り、子育て支援を行えるような「街をつなぐ保育園」を創りだしました。

街と向き合う建物北側は、フェンスを設けず、園児と街の人々の様子が見える関係をつくります。南側には、乳児の園庭を配し、園児の活動を感じることで高架下にあたたかな賑わいを創出します。敷地を横断する通路には、エントランスを設け、街と保育園が交わる公園として整備しています。東側敷地には、園庭と遊戯室を設けて、先生・園児・両親・街の人々が交流する街に開く空間になっています。

保育園づくりから街を活性化させる「地域資源」として、これからも地域に愛されながら、子どもの生きる力を育む保育園を目指します。



廊下にある小さな小屋は「第2の保育室」としてそれぞれ好きな時間を過ごせる



子どもたちが創意工夫をして遊ぶための起伏のある芝生の園庭



既存のケヤキの巨木を残した外構計画

## ③ マルチエアコン小空間マルチカセット「ココタス(スマートパトロール運転プラス)」 (ダイキン工業株式会社との共同応募)

高断熱化や冷暖房機器の高性能化により、住まいの快適性は大きく向上していますが、洗面脱衣室、家事室、ホール廊下など短い時間しか使わない小さな空間は、暑さ・寒さに悩まされることがあります。

「ココタス」は、そんな小空間にもスッキリ納まるコンパクトサイズの天井カセット型エアコンです。

今回、ダイキン工業株式会社と共同開発した「ココタス」のスマートパトロール運転プラスは、運転停止後も1時間に1回、自動で運転ON/OFFの切り替えを行うことで、寒くなりすぎたり、暑くなりすぎることの抑制します。

「ココタス(スマートパトロール運転プラス)」で冷暖房することで、赤ちゃんや子どもと一緒に入浴する際の洗面脱衣の暑さ・寒さを軽減し、快適な室温環境をつくり出します。



小空間に設計できるように、業界最小の室内ユニットサイズを実現



無線LAN接続機能を標準搭載し、スマホでどこでも操作・室温チェック可能

## <子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門>

### ④ 子どもでも開けやすい窓用引手「イーズ引手」(不二サッシ株式会社との共同応募)

積水ハウスでは、独自のスマートユニバーサルデザインの観点により、安全で使いやすく見た目にも使用した時にも心地よさを感じるモノづくりを実践しています。

最近の窓は、大型化、高断熱化、高气密化や防犯対応など性能は飛躍的に向上する一方で、重量が増し、力が弱い子どもには開けにくい傾向がみられます。

「イーズ引手」は、指がかかりやすい形状や構造にすることで、力の弱い子どもでも窓に力をかけやすく、開けやすくなっています。また、内と外をゆるやかにつなぐ居心地の良い「スローリビング」に欠かせない大きな窓も開けやすく、魅力的な居住空間と子どもの使いやすさを両立させています。

自分で窓を開け閉めすることで、内外を自由に行き来し、お手伝いや庭遊びなどを通して、子どもの行動範囲を広げ、生きる力を育みます。



大きな窓のある「スローリビング」



軽い力で窓を開けられる「イーズ引手」